

首都大における 障がいのある学生支援

～差別解消法の施行を見据えて

合理的配慮をどのように実現するのか

6月6日[金] 事前申込不要
※入退場自由！
14:30～17:00

手話通訳、文字通訳(パソコン要約筆記)
による情報保障を行います。

会場

首都大学東京 南大沢キャンパス
91年館

杉野 昭博(すぎの あきひろ)氏

首都大学東京 都市教養学部 都市教養学科人文・社会系社会福祉学教室教授。主な研究テーマは障害者の社会参加支援で、最近は障害学と福祉工学の接点を探る『よくわかる障害学』をミネルヴァ書房から刊行した。2013年3月に障がい学生支援で定評のある関西学院大学を退職し、首都大学東京都市教養学部人文・社会系に所属変更。



河和 旦(かわわただし)氏

視覚障害と肢体不自由の重複障害を持つ。2005年4月、首都大学東京の第一期生として、都市教養学部人文・社会系に入学。2009年3月に社会福祉学分野卒業。2014年2月より、社会福祉法人シルヴァーウイングに在宅勤務。また視覚障害者対象のパソコン教室「ふくろうアシスト」を設立、指導や相談に応じている。

藪 謙一郎(やぶけんいちろう)氏

先天性の全身の筋力低下、嚥下・音声機能障害を持つ。電動車椅子使用。川崎市立の小中学校(普通級)、私立桜美林高校を卒業後、平成12年4月、東京都立大学工学部精密機械工学科に入学。同大学院、工学研究科修士課程を経て、平成22年3月、首都大学東京システムデザイン研究科にて博士(工学)を取得。東大先端研特任研究員ののち現職にて、音声生成器や電気式人工喉頭等の支援機器、バリアフリーマップに関する研究に携わる。

小林 ちひろ(こばやしちひろ)氏

生まれた時から聴覚障害(現在は2級)を持ち、補聴器と人工内耳を装着。高校までは普通学校に通い、大学ではじめて授業時にノートテイクのサポートを受け、障害学生支援組織CSSOに入り仲間と一緒に障害学生支援体制を築く活動をする。日本社会事業大学社会福祉学部卒業後、横浜市役所に入り現在5年目に突入。好きなことは食べること。

石川 准(いしかわじゅん)氏

社会学博士、静岡県立大学国際関係学部教授、内閣府障害者政策委員会委員長。主な研究テーマとして社会学分野では、アイデンティティ・ポリティクス論、障害学など、支援工学分野では、日本語英語自動点訳プログラム、スクリーンリーダーなど。また現在、「高等教育機関における障害学生支援に関する全国協議会」準備委員会委員長として活動中。



プログラム

14:30 主催者挨拶

14:35 基調講演

静岡県立大学教授

15:25

休憩5分

15:30 パネルディスカッション

コーディネーター

17:00

人文・社会系社会福祉学分野教授

杉野 昭博

パネリスト

静岡県立大学教授

石川 准氏

社会福祉法人シルヴァーウイング職員

河和 旦氏

東京大学特任研究員

藪 謙一郎氏

横浜市金沢福祉保健センター職員

小林 ちひろ氏

お問合せ・連絡先

主催：首都大学東京 ダイバーシティ推進室 (南大沢キャンパス 図書館本館1階)

TEL：042-677-1337(直通) / 内線 2571

E-mail：diverwww@tmu.ac.jp URL：http://www.comp.tmu.ac.jp/diversity/